

■ 高速道路以外でETCが使える新たな決済サービス「ETCGO」について

～事前登録不要！いつものETCで駐車場もささっと支払い！～

アマノ株式会社 パーキング事業本部 ソリューション営業課 係長 江部 彰宏

1. はじめに

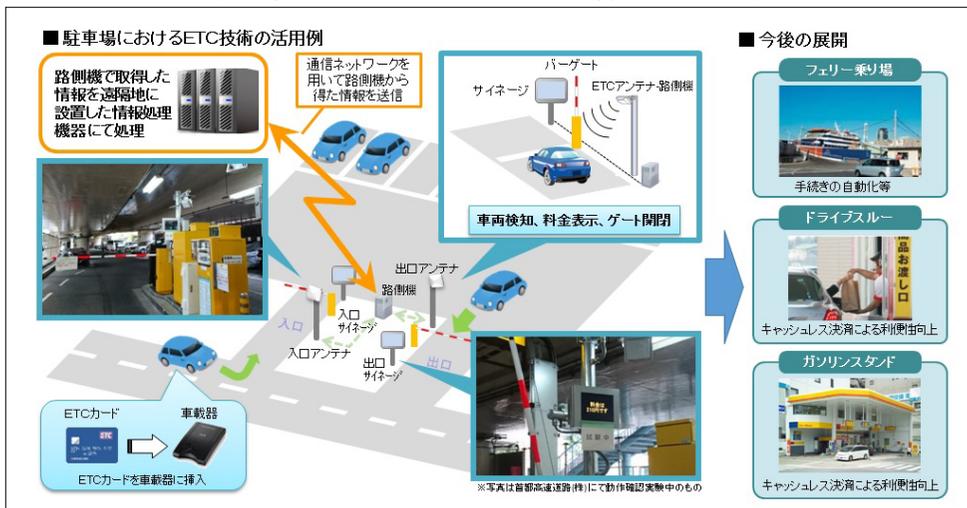
ETCは、2001年に本格導入されてから、高速道路料金の支払いに便利な決済手段として広く普及しています。国土交通省のホームページによると高速道路のETC利用率は94.7% (令和6年3月^{*1})にまで達していることがわかります。さらに近年では高速道路料金所におけるETC専用化が進められているため、今後ますます高速道路でのETC利用が前提となっていく事が考えられます。

弊社は、ETCが利用できる場所を拡大し、より便利に活用するための新しいサービス「ETCGO(イーティーシーゴー)」をスタートしました。ETCGOはETCカードをETC車載器にセットした状態で駐車場の料金を簡単に支払うことができる新しい決済サービスです。2023年11月より「三郷流山橋有料道路(埼玉県道路公社)」で本格運用を開始し、現在では有料道路に加えて駐車場への導入を行いました。

本稿ではETCGOの仕組みと特徴、駐車場導入事例についてご紹介させていただきます。

2. ETC多目的利用拡大に向けた取り組み

国土交通省は、「世界最先端IT国家創造宣言(平成25年6月14日閣議決定)」で示された方針^{*2}に基づき、駐車場等、高速道路以外の施設におけるETC技術の活用について検討を進め、2019年に「ETC多目的利用システムの利用に関する要綱」を定めました。この制定により、ETCの利用範囲が広がり、様々な施設における活用が期待されています。



国土交通省 ETC多目的利用サービス

こうした中で、弊社は、首都高速道路株式会社、株式会社日立製作所、首都高ETCメンテナンス株式会社と事業協定を締結し、「ネットワーク型ETC技術^{*2}」を用いたETC決済システムを開発しました。このシステムを使うことで、全国の駐車場にETC決済サービスが展開できるようになりました。

弊社は2018年以降、駐車場や有料道路でETC決済に関する試行運用を繰り返し実施し、そこで得られた課題を一つ一つクリアしながらETC多目的利用拡大に向けた取り組みを続けています。

3. 高速道路のETCとの違い

ネットワーク型ETC技術を用いたETC決済システムは、決済を行う際に「必ず一旦停止」が必要です。高速道路のETCのようにノンストップによる通行はできません。これは、駐車場のETC設備で取得した情報を、ネットワークを使って遠隔地の情報処理機器へ送るなどの一連処理に時間を要するためです。ETCGOはETC情報の取得から決済処理にかかる時間はわずか2秒程度で完了しますが、高速道路のETCと比べると処理時間に違いが見られます。

一方で、高速道路のETCは各料金所に情報処理機器を持つため設備コストがかかります。その点、ネットワーク型ETC技術を用いたETC決済システムは、駐車場に情報処理機器や高速道路にあるような大がかりな設備を置く必要がない分、設備にかかる費用が抑えられるというメリットがあります。情報処理機器をクラウド上に持つETCGOは、高速道路よりも低コストで駐車場にETC決済サービスが導入できます。

4. 事前登録が不要

ETCGOの最大の特徴は、サービス利用にあたりETCカードやクレジットカードなどの事前登録が不要という点です。ETC情報の取得からETCカードによる料金支払いという一連処理を、高速道路と同じような流れで実施しています。そのため、高速道路のETCが事前登録不要で利用できるのと同じく、ETC車載器にETCカードが入っていればどなたでもETC決済をご利用いただけます。

注意すべきポイントは、現時点で対応するETCカードが少ないことです。ETCGOは、すでに高速道路で実施されているETCカード決済のシステムとは別にETCGO独自のシステムを設けることから、ETCカードを発行しているクレジットカード会社(ETCカード発行会社)は、ETCGOに対応したしくみを新たに構築する必要があります。ETCカード発行会社の準備が整うと、その会社が発行するETCカードでETCGOを利用できるようになります。

(利用可能なETCカードは順次拡大中です。ETCGO特設ホームページ^{*3}にて対象カードを掲載しています。さらに、同ホームページではお持ちのETCカード番号を入力するとETCGOの対象カードかどうか判定する機能があります)

5. 必要な機器と利用方法

駐車場でETCGOサービスを導入する場合に必要な機器は、次の通りです。①ETCアンテナ②カーゲート③サイネージ④ループコイル(車両検知器)⑤レーン制御盤などが必要で、既に弊社の駐車場機器をお使いの場合は、現地のカーゲートやループコイル、さらには発券機や精算機といった設備を流用できます。これらの機器と通信ネットワークが準備できればETC決済をご利用いただけます。

次に、ETCGOの利用方法についてです。

利用者はETCカードをETC車載器にセットした状態で、ゲートの前で一旦停止します。ETCアンテナとETC車載器が通信を行い、ETC情報を取得します。ETCGOが利用できるETCカードであれば、ゲートが開き入場できます。出口も同様にゲートの前で一旦停止し、取得した入場情報とETC情報を処理して駐車料金をETCカードで決済します。決済が完了するとゲートが開き出場できます。入口、出口ともに、ETC情報の処理にかかる時間はわずか2秒程度。入場も退場もゲートの前で一旦停止するだけでスムーズに通行できます。料金の請求は高速道路のETCと同様にETCカードに付帯するクレジットカードで処理されます。

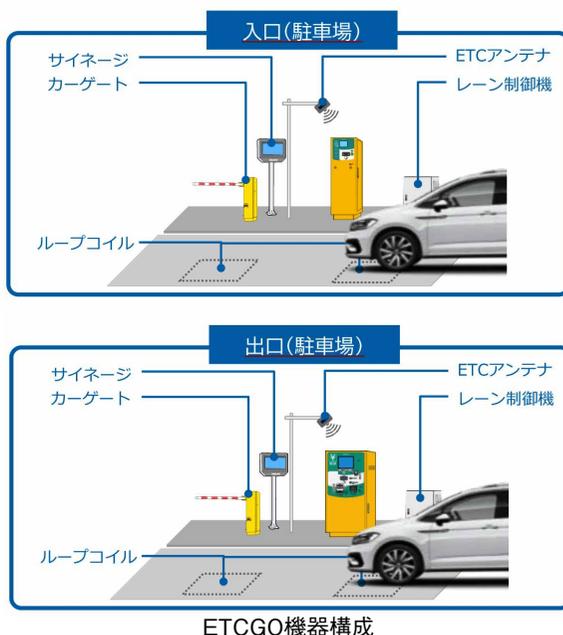
また、ETCGOの利用履歴や領収書は、弊社が用意した「ETCGO利用照会サービス(専用WEBサイト^{*4})」で確認できます。この利用照会サービスは、スマートフォンやパソコンを使ってETCGOの利用日時や利用場所、決済金額が分かるほか、領収書をダウンロードしてプリントアウトすることも可能です。専用アプリケーションのインストールなどは不要で、いつでもどこでも利用状況が確認できます。

6. 導入メリット

ETCGOによる入退場では、窓開けや機器への接近が不要であることから、運転が苦手な方や左ハンドル車両でも安心してご利用いただけます。また、一旦停止するだけで料金決済が完了しゲートが開くため、ETCGOは出入口における渋滞の課題を抱えている駐車場に最適なサービスです。

また、駐車場係員の高齢化・人手不足に悩まれている駐車場では、ETCGOによって有人收受から無人收受に運用を切换えるなど係員雇用の課題解消につながります。

加えて、ETCによる入退場に限定した駐車場(ETCGO専用駐車場)も可能です。この場合、



出入口に発券機や精算機が必要ありません。ETCを使ったチケットレス・キャッシュレス入退場が実現できるほか、駐車券・領収書などの消耗品コストや、つり銭補充や売上金回収にかかる現金管理業務の縮減が期待でき、管理・運用にかかるコストの最適化につながると考えられます。

そのうえ、弊社は駐車場におけるトラブルに対しても迅速な対応が可能です。弊社グループ会社が保有するコールセンターでは24時間365日のお客様対応が可能で、これまで多くの駐車場に導入した実績があります。安心してETCGOをご導入いただけるよう体制を整えています。

7. 駐車場導入事例(ウインドサーフィンW杯記念駐車場)

弊社は神奈川県道路公社(本社：横浜市中区、理事長：田中 和久)が運営する時間貸し駐車場において駐車場としては初めて「ETCGO」のサービス提供を開始しました^{※5}。ウインドサーフィンW杯の舞台となった三浦市の海岸に面した駐車場で、ETCGOによる入退場のほか、入口で駐車券を受け取り、出口ゲートの精算機で現金支払いも可能です。

こちらの駐車場は、入口で入場方法が選択できます。ETCGOで入場する場合は「ETCGOボタン」を押し、駐車券で入場する場合は「発券ボタン」を押して駐車券を取って入場します。(ETCGOボタンは利用可能なETCカードがETC車載器にセットされている場合だけ有効)

入口、出口には21.5型のサイネージを設置し、利用者に向けて「一旦停止」や「ETCGOの利用可否」、「ETC決済金額」といった情報を表示します。駐車場の利用方法が書かれた看板など初めてETCGOを利用する方へ配慮した案内を実施しています。

出口は、入場時に選択した方法に応じて料金収受方式が異なります。ETCGOで入場したお客様は、出口ゲートの手前で一旦停止するとETCカードによって駐車料金の支払いが完了し、



ウインドサーフィンW杯記念駐車場

利用料金		
利用期間	営業時間	料金
7~8月	全日	¥400/1時間 [※]
1~6月 9~12月	平日 0~24時 土日・祝・休日	¥500/回 ¥400/1時間 [※]

※当日最大24時まで¥1,000(土日・祝・休日、7~8月)

車両の制限			
長さ	幅	高さ	重量
4.7m	1.9m	2.1m	2.0t

ETCGO[®]が使えます!
※近隣の三浦海岸第1、第2駐車場ではご利用になれません

ゲートが開いてスムーズに出場できます。駐車券で入場した場合は、出口の精算機を使い、ETCではなく現金などで料金支払いを行います。



駐車場の入口と出口



サインージ表示例

8. おわりに

ETCGOは、ETCの利便性を最大限に引き出し、高速道路料金だけでなく、駐車場の料金決済を可能としたこれまでにない画期的なサービスです。事前登録することなく利用でき、ほんの数秒のうちに支払いが完了するため、駐車場における待ち時間の大幅な短縮とスムーズな入退場が期待できます。ETCGOサービスの導入にかかる費用や運用、その他ご不明な点があればいつでもお問合せください。



ETCGOロゴマーク



他にもETCGOの特徴や利用可能なETCカード情報、ETCGOサービスがご利用いただける事業地情報などは弊社ホームページ^{※3}に掲載しています。ぜひご覧ください。

アマノはETC多目的利用サービス「ETCGO」で駐車場がもっと便利に快適になるようこれからも取り組んでまいります。

※1 国土交通省ホームページ | <https://www.mlit.go.jp/road/yuryo/etc/riyou/index.html>

※2 国土交通省ホームページ | <https://www.mlit.go.jp/road/yuryo/etc/service.html>

ネットワーク型ETC技術とは、遠隔地に設置したセキュリティ機能を有した情報処理機器と駐車場などにおける路側機を通信ネットワークで接続し、ETCアンテナで取得した情報を集約させて一括処理することで、ETCカードを用いた決済の安全性を確保する技術

※3 ETCGO特設ホームページ | <https://www.amano.co.jp/etcgo/user/>

※4 ETCGO利用照会サービス | <https://www.etcgo.jp/>

※5 アマノニュースリリース | https://www.amano.co.jp/information/pdf/202404etcgo_park.pdf

ETCGOに関するお問合せ先

アマノ株式会社 パーキング事業本部 045-439-1517

<https://www.amano.co.jp/>